

令和4年度 高等部経営重点事項

上記学部経営方針にむけて、学部経営重点事項を以下5点に設定する。

重点事項	目標	具体的内容
①将来を見据え、自立と社会参加に向けた系統的な学習指導の充実	卒業後の生活（家庭・職場・余暇の場）へのつながりを見据えた授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者とともに将来像を組み立て、生徒の実態に応じて個別の指導計画を作成し、将来像の実現に向けた授業づくりを行う。 ・社会に出た後、生徒が自らの力で活動している姿をイメージして日々の指導に臨む。「なんとなく活動を行った」ではなく「しっかり活動ができた」と実感できるように、段階、支援を設定しながら取り組む。
②安全で安心して生活できる教育環境づくり	生徒が心身共に健康で学校生活を送ることができる教育環境、指導体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に関する情報共有を、朝の打ち合わせ、学部会、ケース会議等を利用しながら共有し、実態に応じた一貫性のある指導を学部全体で行う。 ・日々の活動場所の安全点、消毒作業及び毎月の安全点検を通して、物品の破損や想定される危険に対応したり、感染症対策を行ったりする。 ・適宜、不用品の処分、物品整理、環境整備を行い、教員、生徒共に安全で活動しやすい教育環境を整備する。
③各教員の専門的指導力の向上	学部教員一人一人の特別支援教育の専門性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学部会等において、それぞれの教員がもつ専門的知識の情報を共有する。 ・校内教員同士及び外部講師による授業参観を行い、授業内容を共有、検討する。
④保護者と連携した特別支援教育の推進	日々の指導や進路指導にける、目標、内容の確実な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会、個別面談、授業参観等の機会を通して、指導の目標、内容、成長、課題、そのための支援を具体的に伝える。そのために、担任間、担任と授業担当者、進路などが事前に情報共有を行う。 ・日々の連絡は、連絡帳や電話などで、主に健康や安全面の連絡、必要な事務連絡、著しく成長した点等、内容を精選して伝える。 ・学級通信、授業通信を定期的に発行し、全体の様子や授業、活動の概要を伝える。
⑤教育効果とバランスの取れた働き方改革の推進	業務時間確保のための教材研究、情報共有の工夫及び指導体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・過去のデータや教材の保管場所を整理し、活用しやすくすることで、効率よく教材研究や情報共有を行う。 ・授業に対して適した人数の教員を配置したり、指導体制を見直したりして、教員の専門性向上、他業務を行うための時間を確保する。